

# 令和元年度 地域資源活用展開支援事業 「相談窓口」の設置に係る相談件数及び好転事例

農家等から寄せられた相談案件は132件（106者から相談）あり、そのうち約8割が営農型太陽光発電に関する相談であった。相談内容のうち主なものとして、事業の実現性、FIT申請、農地転用の進め方、資金調達の方法、優良事例の紹介などがあった。

## 1. 相談件数

電源種	相談内容								合計
	事業化可能性等	農地転用等	事例紹介	資金調達	FIT申請等	関係者との合意形成	専門家派遣依頼	技術的相談	
営農型太陽光発電	38	18	8	8	20	3	3	4	102
小水力発電	1				3				4
バイオマス発電	14	1		1		1	3	2	22
バイオガス発電	2								2
太陽光発電	1		1						2
合計	56	19	9	9	23	4	6	6	132

## 2. 相談・アドバイスの主な好転事例

長野県茅野市において農業振興地域の農用区域に指定された水田地帯で、太陽光発電による売電を検討していた相談者に、法面での太陽光発電の具体的な設置方法やファインンス面でのアドバイスを実施。その結果、農業委員会から一時転用申請が許可された。農業振興地域の農用区域の畦畔または法面の一時転用許可としては長野県内で初の事例。設備は令和2年5月から運転開始。農家の所得向上に加え、土手草刈りの負担軽減につながる事例である。

おびかわ  
(写真提供：帯川ファーム)

